

奇跡の將軍

樋口

ひぐち

季

きい

一郎

いちろう

偉大なる
人道主義者
ゼネラル樋口



皆さん、樋口季一郎といふ人物を知つてますか？

ひぐち

きいちろう

残念ながら
大抵の人は
知らないと
思ひます

日本のシンドラーと呼ばれた
外交官・**杉原千畝**が
ユダヤ人難民**6千人**を
救つた話は有名です

がそれよりも2年前に
ユダヤ人難民を一説によれば
2万人救つたのが**樋口**なのです



人道主義者であり
知的で勇気があり

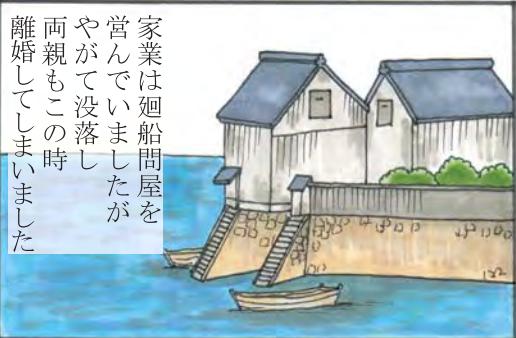
稳健な熱血漢で
三度もの奇跡を
起こした人です



さらに
キスカ島撤退や
ソ連軍から北海道を
守つた千島列島最北端の
占守島の戦いを指揮した
勇将でもあるのです



樋口は明治21年に兵庫県の淡路島に生を受けました



家業は廻船問屋を営んでいましたがやがて没落し両親もこの時離婚してしまいました



大正3年には静子夫人を娶りました



明治42年陸軍士官学校を卒業しさらに陸軍大学に進みドイツ語やロシア語を学びました



なので樋口は金銭的負担の少ない軍人への道を選択しました

このポーランドで樋口の陸軍士官学校の同期の百武（ひやくたけ）晴吉が暗号研究に取り組み樋口は彼を支援しました

陸大卒業後は情報将校としてインテリジェンスに携わり大正14年にはポーランド公使館付武官を務めました

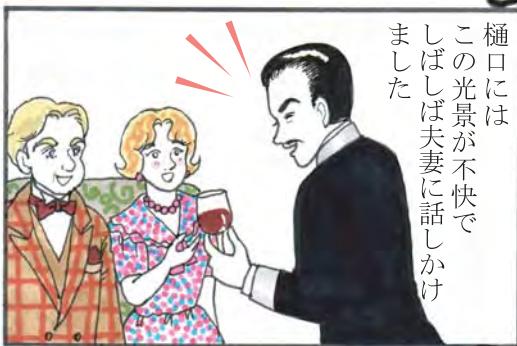
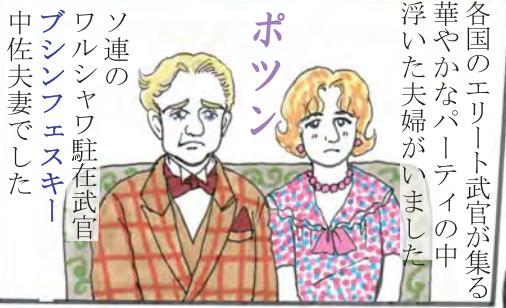


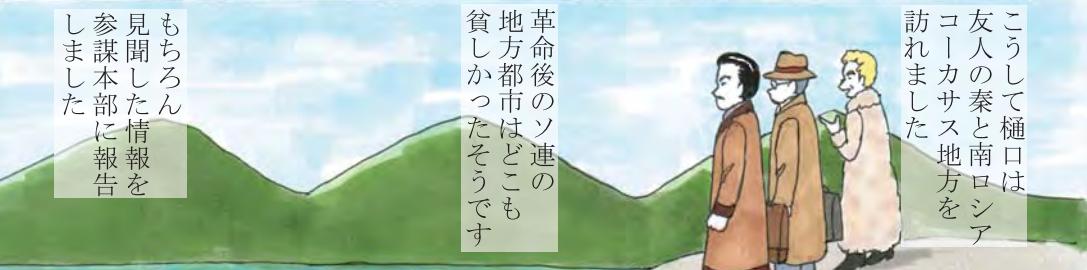
これにより日本陸軍の暗号技術は極めて高度なものとなりました
大東亜戦争中日本海軍の暗号は連合軍にほぼ解読されていましたが陸軍は最後まで解読されず逆にソ連軍の暗号を解読しました

それも数ある樋口の業績の一つです



また樋口は人脈を広げるため
社交界デビューし

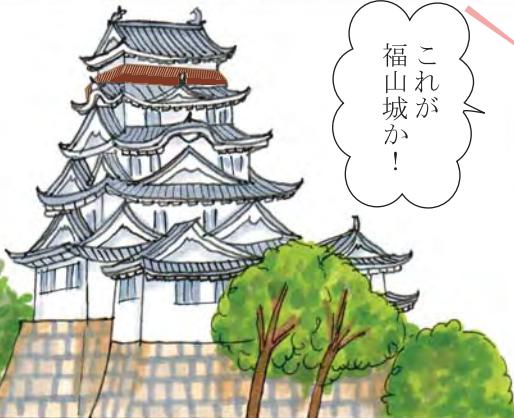




昭和8年
樋口は福山歩兵第四連隊へ
連隊長として赴任しました

これが
福山城か！

※福山城は家康の
従兄弟の水野勝成が
築城しました



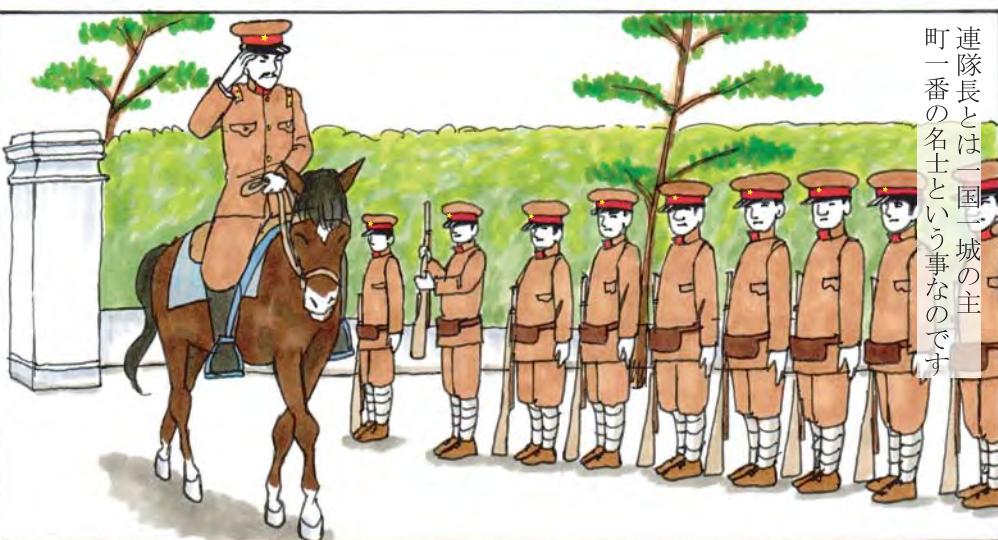
※ここは昭和9年に
日本初の国立公園に
なりました

おおっ
ここは桃源郷
みたいだな！

こちらは
鞠の浦です



連隊長とは一国一城の主
町一番の名士という事なのです



樋口は当然
四一連隊の歴史
を知ることに
なります

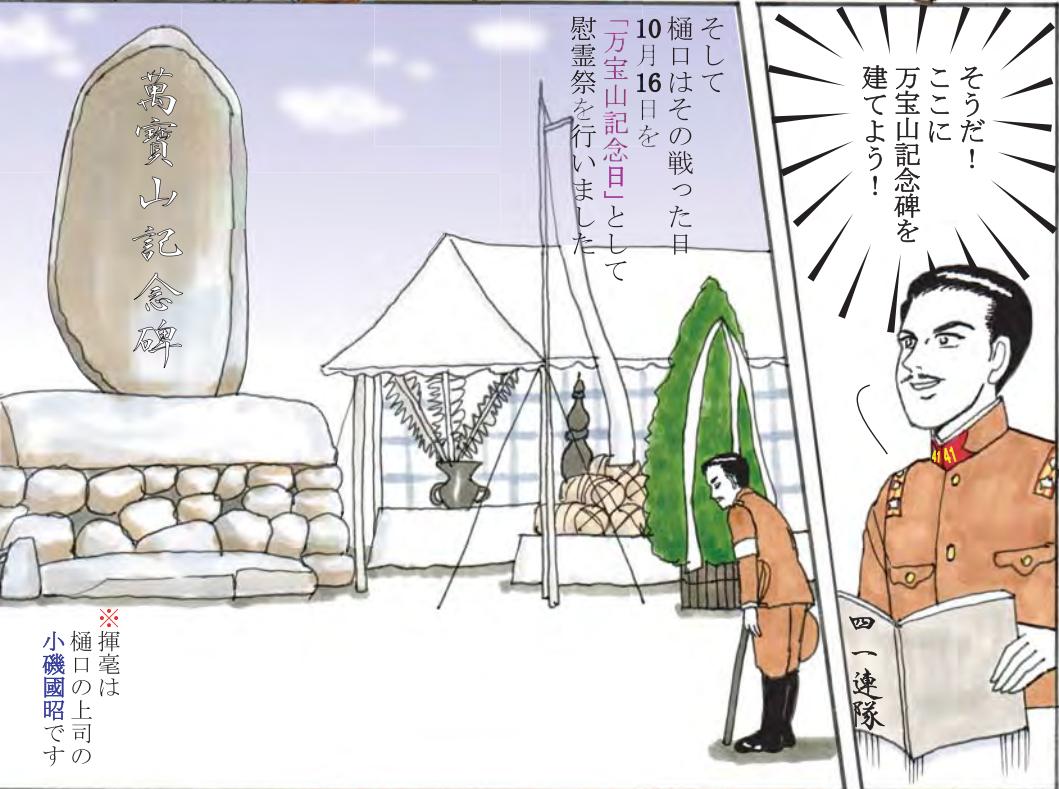
四一連隊は日露戦争・
万宝山の戦いで軍旗を守り



連隊長以下
必死で戦い抜いて
全滅したことを知ります



四一連隊先輩達の
偉勲をこのまま
埋もれさせては
絶対ならないな



そして
樋口はその戦った日
10月16日を
「万宝山記念日」として
慰靈祭を行いました

そうだ！
ここに
万宝山記念碑を
建てよう！

※樋口は
樋口の上司の
小磯國昭です

しかし樋口が建てた記念碑は戦後
進駐軍により破壊され
しまいました



現在は元四一連隊の
門田武雄市議会議長が建てた
四分の一ほどの大さのレプリカが
備後護国神社境内に残されています

秋ともなれば
豊富になる松茸狩りに
興じたり

ボラや鯛釣り
をしたり

激動の軍人生活の
樋口にとつて福山での
暮らしへのどかでした

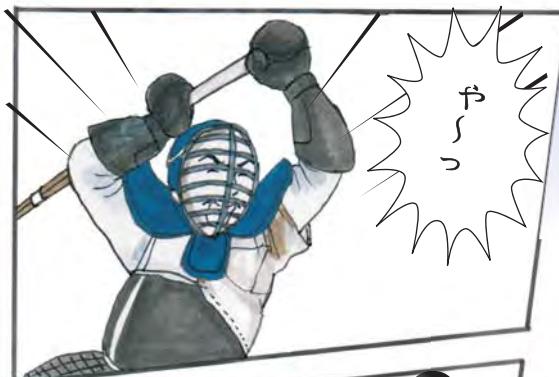


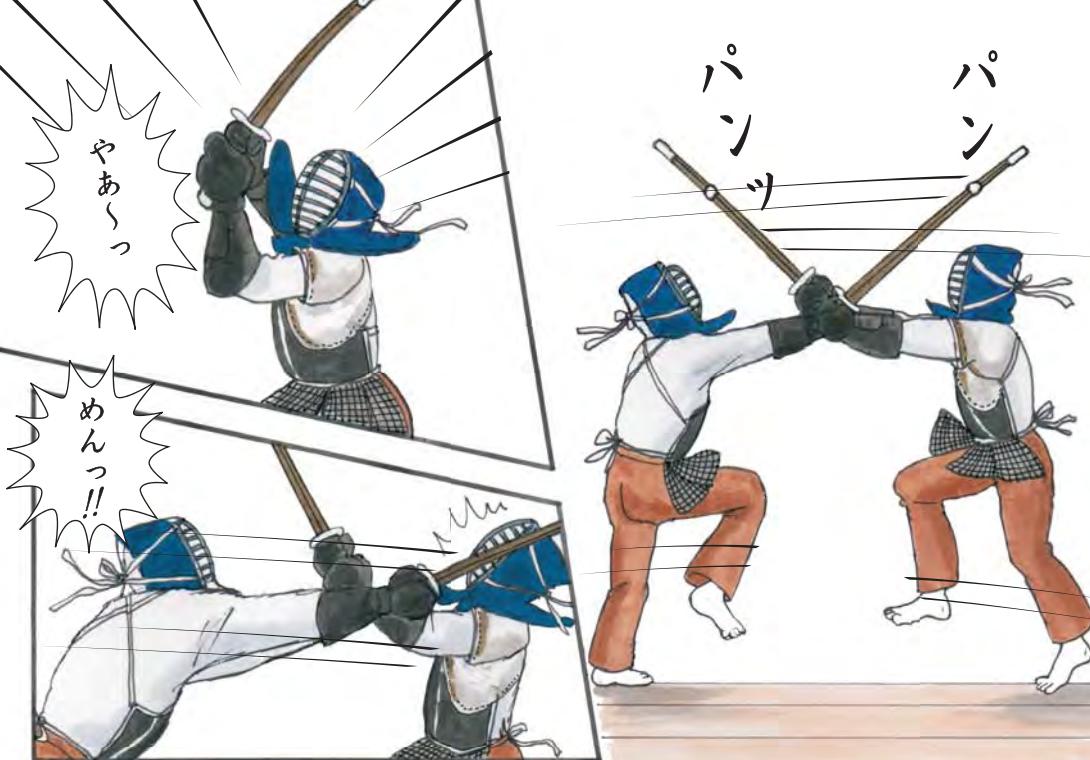
それを肴に
福山の銘酒「鐵正宗」で
一杯やるのが何よりも
行楽でした



※ 桶口は士気を上げるために
剣術や射撃術を奨励し
五師団対抗の剣術大会を行いました

※ 五師団とは別名
「鯉兵团」と呼ばれ
編成されました
広島11連隊・浜田
福山41連隊・山口
4221連隊で





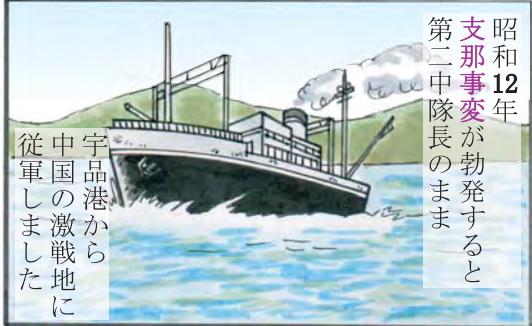
杉本は樋口も認める
連隊将校の至宝的存在で
彼の尽忠至誠は
乃木に匹敵するものでした



杉本大尉の口癖は
「兵とともに在り兵と生死をともにしたい」
が口癖で出世にはまるで
興味がありませんでした

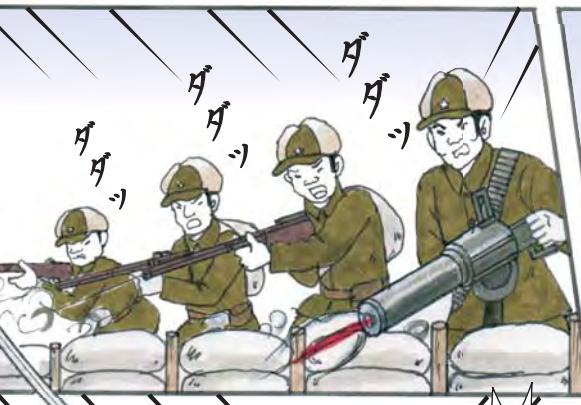


部下思いで
特に貧しい家庭の
部下への送金を
欠かしませんでした

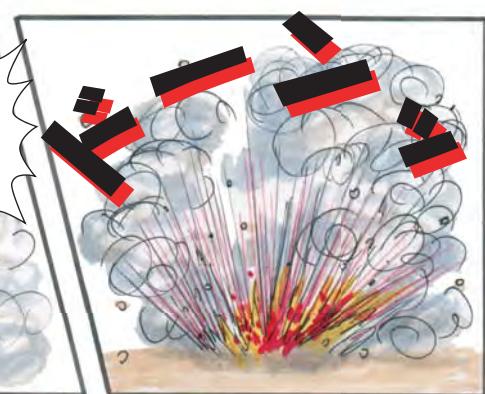
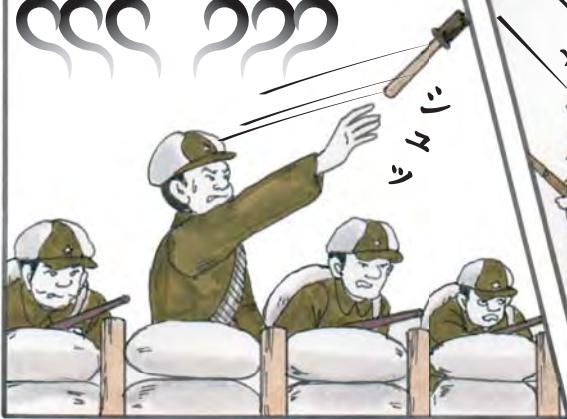


宇品港から
中国の激戦地に
従軍しました

昭和12年
支那事変が勃発すると
第二中隊長のまま



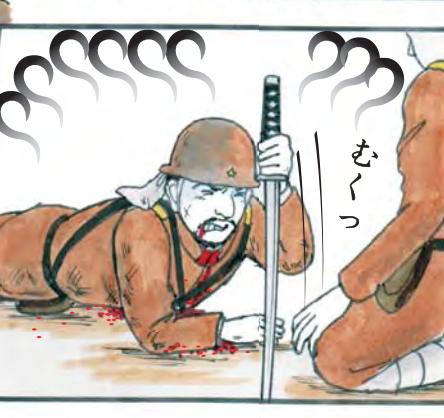
同年9月
山西省広靈県東西加斗閣山で
激戦を繰り広げました



38歳でしたー



杉本大尉は皇居の方角に
挙手敬礼をし
立つたまま絶命しました



彼は私より
若かつたが
軍人としては
私の師であつた



「名利など
なんだというのか
地位がなんだというのか
断じて名聞名利の
死の寸前まで息子達に
送った手紙20通が
「大義」として刊行され
大ベストセラーになりました



三原の「仏通寺」で
彼の墓所でもあります



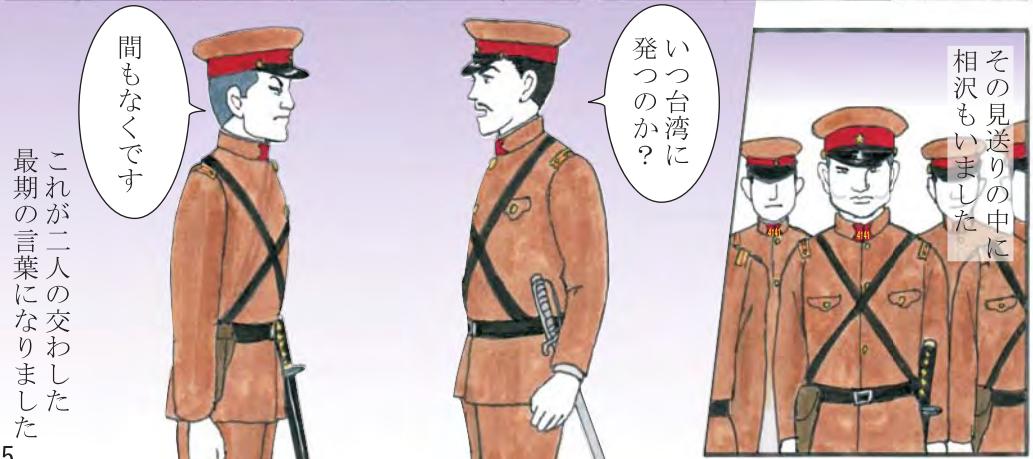
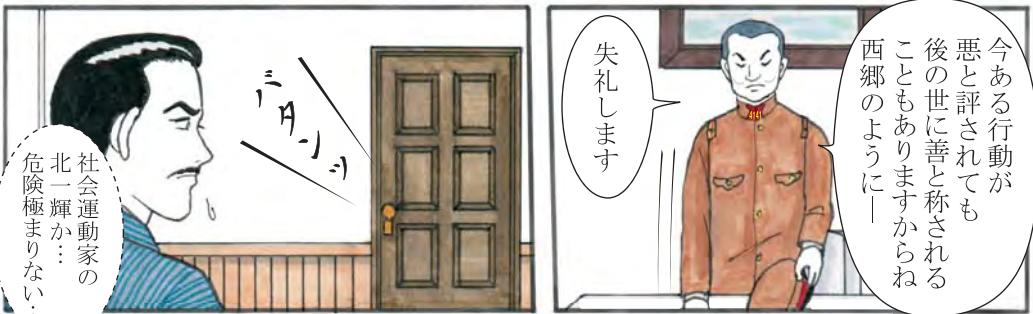
そんな彼が
心身を鍛えた場所が

樋口の四一連隊に
後に世間を騒がせる
相沢三郎 中佐がいました
皇道派青年将校に共感し
日本改造を強く
主張していました

昭和9年の夏
相沢が不意に樋口を
訪ねて来ました



非常の場合には天皇の軍隊を使用しても陛下はお許しになります



その三日後、
長春に滞在していた
樋口の元に新聞記者が
駆け込んできました

大変ですっ！

相沢中佐が
永田軍務局長を
殺害しましたっ！！



一方
樋口の留守宅では

相沢中佐の
奥様！
どう
なさったの
！？



奥様っ！
大変なことに！

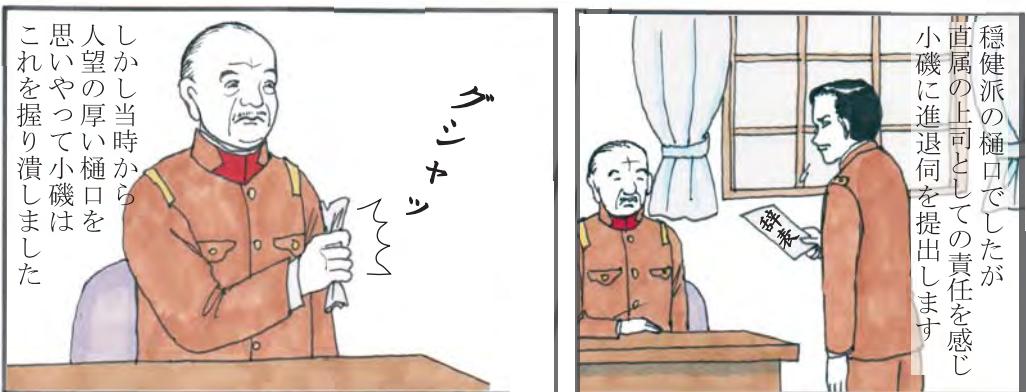
永田軍務局長
を刺したのは
うちの
主人に間違
いありませんわ！



※ここは
鰯節王と呼ばれた
安部和助が建てた
洋館で現在は
「福寿会館」として
国の登録
有形文化財と
なっています

えっ！？





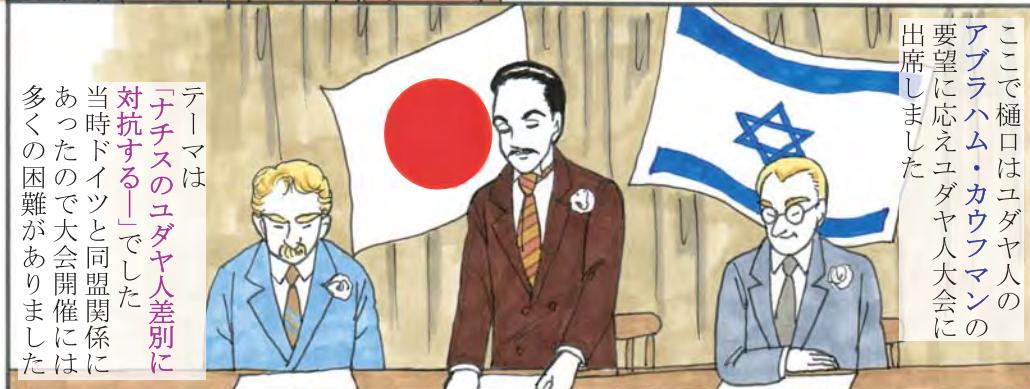
後日談ですが
昭和10年春頃に



昭和12年

樋口はハルピン特務機關長に
任せられます

日本の強い影響下にあつた
満州国に着任早々若手将校を集め
自らの方針を伝えました



昭和13年3月
ソ連満州国境の
オトボールに大勢の
ユダヤ人難民が
集結しているという
情報が樋口のもとに
もたらされました



もはや樋口には長考している
時間はありませんでした

そしてあのバトウムの
老人の顔が浮かんだ時—

下村達には
「人道上の問題」として
難民受入れの外交手続き
を指示し

あなたは
メシアだ！

よし
受けよう!!

まず外交官の下村信貞と
満州国外交部に働きかけて
入国許可を促しました

難民の
受け入れを—



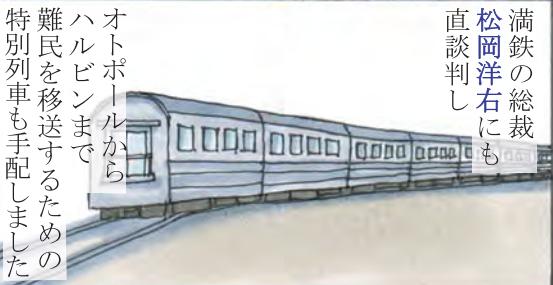
樋口の独断でした
すべて

さらに
食糧や衣服などの手配も
迅速にやり遂げました



当然
自らの地位を
失うことも
覚悟していました

満鉄の総裁
松岡洋右にも
直談判し



オトポールから
ハルビンまで
難民を移送するための
特別列車も手配しました

難民たちにはとりあえず
5日間の滞在ビザが発行され
地元の商工クラブや
学校へ収容され
九死に一生を得ました



「以上が
オトポール事件の
概要ですが
後日ドイツから
日本政府に
激しい抗議書が
届けられました

国内の
外務省や陸軍省
・関東軍内でも
樋口の行動を
問題視する声が
上がりました



が
臆することなく
自説を主張しました

当時
関東軍参謀長の
東條英機に呼び出され
事の顛末を追及されました



武士道精神の
勇気以外の何物
でもありません

樋口の主張に東條は
とがめるとともになく
懲罰も科しませんでした

この時代背景と
ハルピン特務機関長
という地位での
樋口の行動は

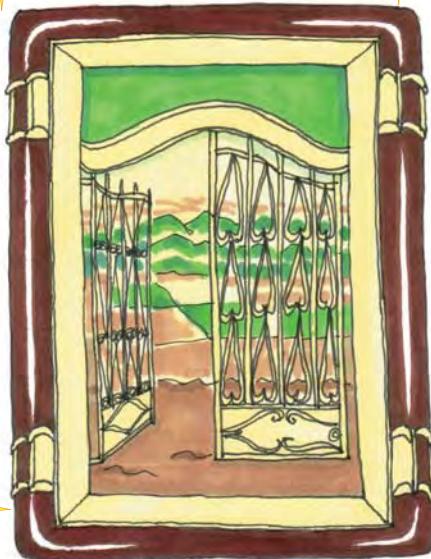
参謀長！
ヒットラーの
お先棒を担いで
弱い者いじめする
ことを正しいと
思われますか？

人道に反することは
断じてできませんッ！！

戦後樋口は
この救出劇について
多くを語つていませんが
自分の孫には「こんなことを
言つていました



イスラエルには
ユダヤ民族に力を貸してくれた人々を
永遠に記念する為のゴーラデンブツク
というものがあります
そこにはアインシュタインや
メンデルスゾーンの名も記されていて



ハルピン特務機關長の
任務を終えた樋口は
昭和17年
札幌の北部軍司令官に
任命されました

ここで樋口は
アメリカ軍が
パークエクトゲーム
と呼んだ奇跡を
やつてのけたのです！

この2島を海軍は
ミッドウェー作戦
の陽動作戦として
占領しました

アツツ島

キスカ島

アラスカ

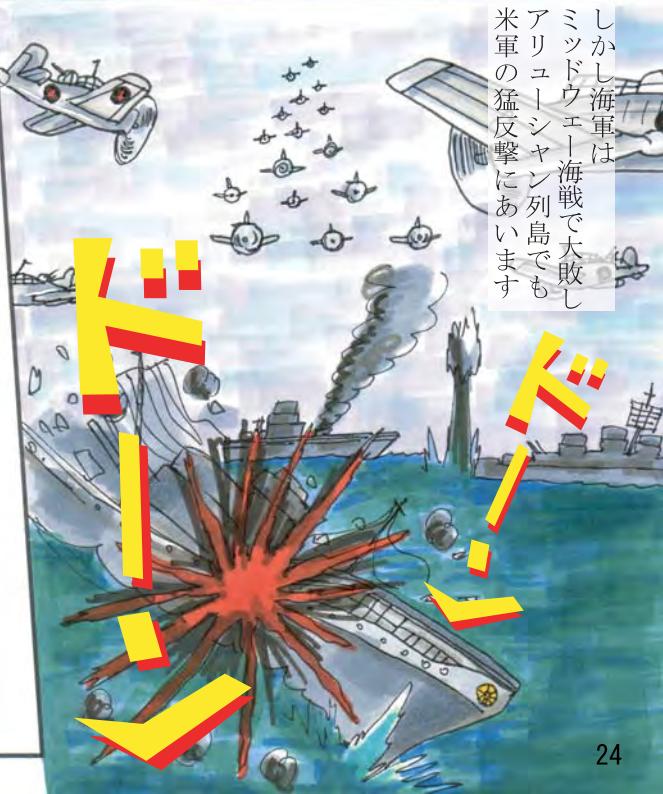
北太平洋とベーリング海の
境目にあるアリューシャン
列島に**アツツ島**と**キスカ島**
があります

気候はいつも鉛色の
雲が立ちこめ
夏は雨・冬は雪と
いつた不毛の地でした



撤退はありえず
仲間達から
弱気の司令官と
あざ笑われたり
しました

この時樋口は大本營に
両島からの早期撤退を
要請しますが一蹴され
てしまいます



しかし海軍は
ミッドウェー海戦で大敗し
アリューシャン列島でも
米軍の猛攻撃にあります

逆に大本營は
両島の守備隊増強を
決定しました

山崎の着任前夜
自宅に彼を招き
鯛と赤飯で
歓待しました

アツツ・キスカ島の
守備隊を増強せよ！

仕方なく樋口は
そのアツツ島へ
新たな守備隊長として
山崎保代大佐を
送り出しました

万が一
アツツ島に事あらば
万策を尽くして
援軍を送る！
それまで全力で
戦つて欲しい！

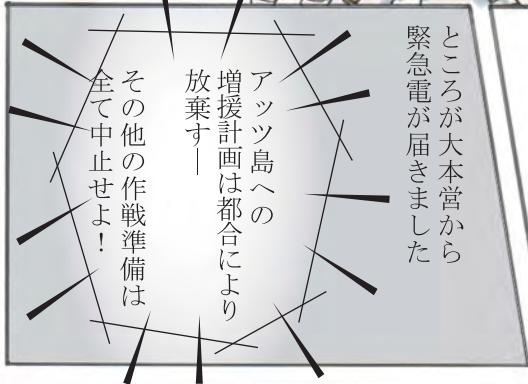
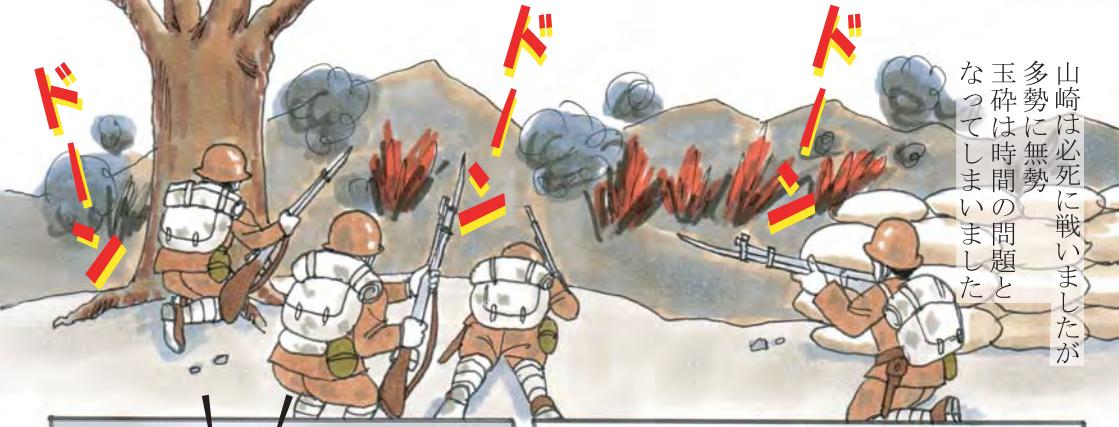
勿論です

山崎は微笑みました

こうして樋口に
送り出された山崎が
着任早々
ついに米軍がアツツ島
上陸を開始しました



山崎は必死に戦いましたが
多勢に無勢
玉砕は時間の問題と
なつてしましました



この時樋口は
新たな部隊と武器弾薬や
食糧資材と共に輸送する
ばかりの態勢でいました



と号泣したそです

樋口は嗚咽をこらえ
断腸の思いで山崎に打電しました

中央統帥部の決定にて
本官の切望せる救援作戦
は現下の情勢では
不可能となれりとの
結論に達せり：

…深く陳謝す

戦する身、生死は元より
問題にあらず
戦局全般のため
重要拠点たるこの島を
力及ばずして敵手に
委ねるに至るとすれば
罪は万死に値す！

そして山崎からの返電は—



…從来の懇情を
深謝すると共に
樋口閣下の健勝を祈念す！

その期至らば
將兵全員一丸となつて
死地につき
靈魂は永く祖国を
守ることを信ず



全機密書類焼却
これにて無線機
破壊処分す！

これが山崎の
最後の電文でした

山崎は300の兵を
引きつれ
敵の銃砲陣地めがけて
万歳突撃し

この玉碎戦で
日本軍の戦死者は
2638名
米軍は上陸した
11000名中

戦死者は
550名
戦傷者は
1140名
戦闘不能者は
1500名

ツンドラの
荒野に
散りました

圧倒的な力の差が
ありながら19

日間も

持ち堪えたのは
山崎の指揮能力による

ものだったのでしょうか

山崎は4人の子供達に
遺書を残しています

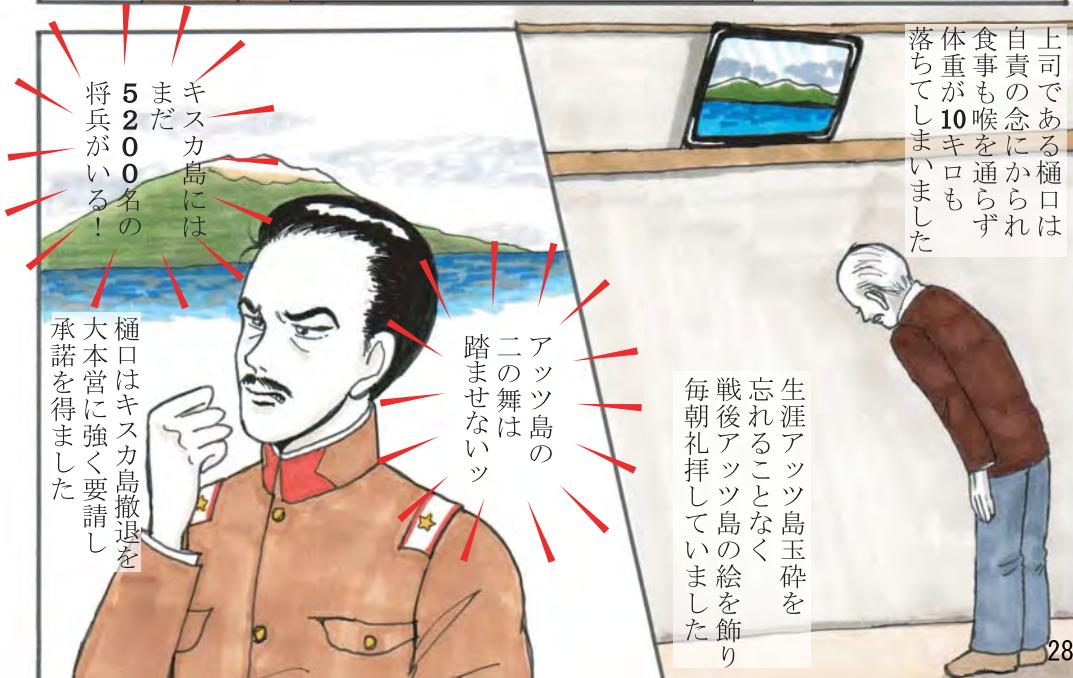
進む道は何でも良い
自分の好きな方面に
行きなさい

立派になつて下さい

母に孝養尽くすことが
父の靈に対する

何よりの

供養と思われたし



キスカ撤退は「**ケ号作戦**」と名づけられました。現場の指揮を取るのは、髭がトレードマークの**木村昌福**第一水雷戦隊司令官です。



一方、菊の御紋章がついた銃を捨てるなどあり得ない事でした。それを百も承知している木村は断固として譲らず、樋口が「**兵器放棄**」という重大な決断を独断で下しました。



一方、キスカ島には陸軍**峯木十一郎**を司令官とする**秋山勝三**を司令官とする海軍の**2500**名の守備隊がありました。



昭和18年7月7日
木村率いる
旗艦「阿武隈」は
幌延（ほろむしろ）
を出港します

11
目に
キスカ突入を
決めていました



木村は
15日
ついに反転を
決めました



えつ!?



燃料が乏しく
なったからです

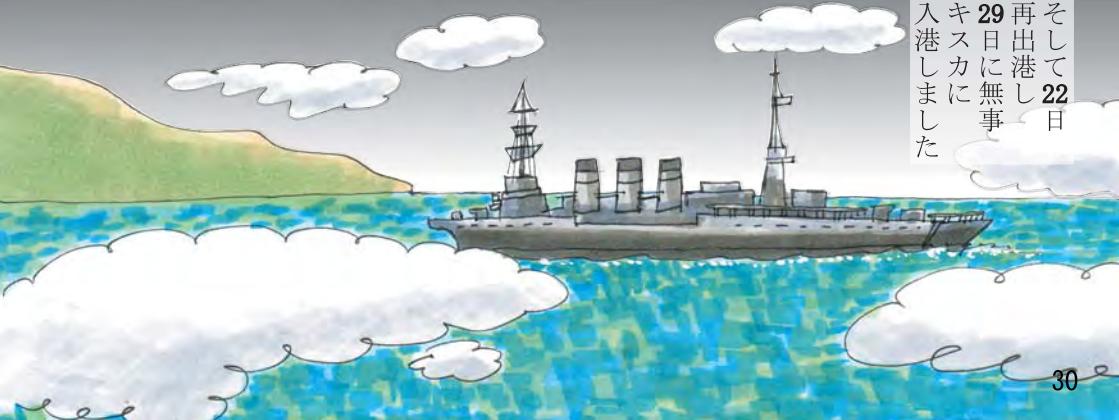


しかし
敵に見つからぬよう
濃霧を期待しましたが
天候が中々悪化
しませんでした

幌延に帰港した木村は
「臆病者」のそしりを
受けますが
彼は平然としていました



そして22日
再出港し
29日に無事
キスカに
入港しました

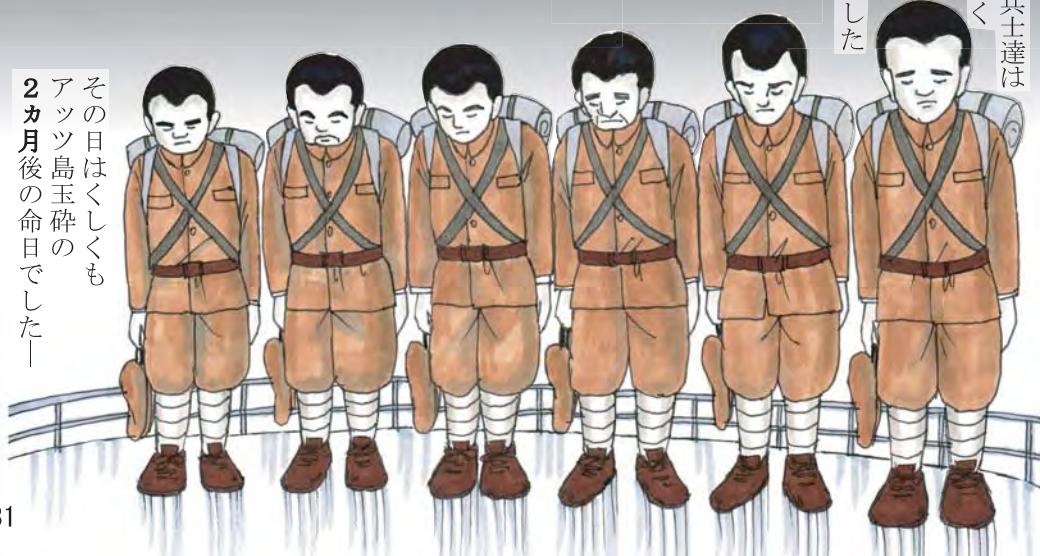


うわあっ!!

迎えるキスカ港の
兵士たちは
歓声を上げ
皆泣いていました



その日はくしくも
アツツ島玉碎の
2ヵ月後の命日でした――



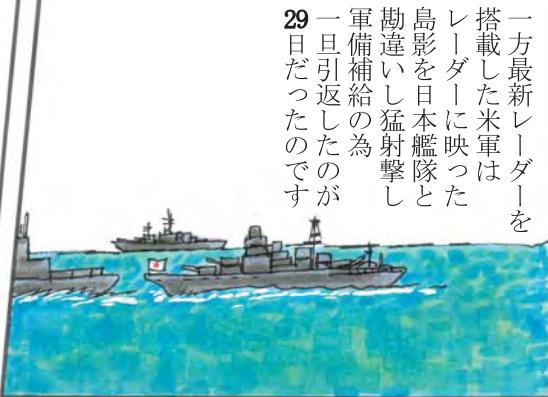
一方最新レーダーを搭載した米軍は

島影を日本艦隊と勘違いし猛射撃し

軍備補給の為

一旦引返したのが

29日だったのです！



まさに奇跡の
一日だったのです！

木村の
機を待つ勇気が
見事に
的中したのです

8月14日

米軍はアツツ島での
日本軍の奮闘の経験から
兵力を**3万4千人**に
増やしキスカ島に上陸
しました



日本軍医が偽装して掲げた
「ベスト患者収容所」という
看板を見つけワクチンまで
取寄せる始末でした



濃霧の中日本兵が
待構えていると
怖れた米軍は
激しく発砲し
同士討ちが起き



米兵が
語つていました
ーと戦後

結局米軍側は
捕虜にしたのは
軍用犬**4頭**だけでした
降伏するように
10万枚のチラシを
投下しました

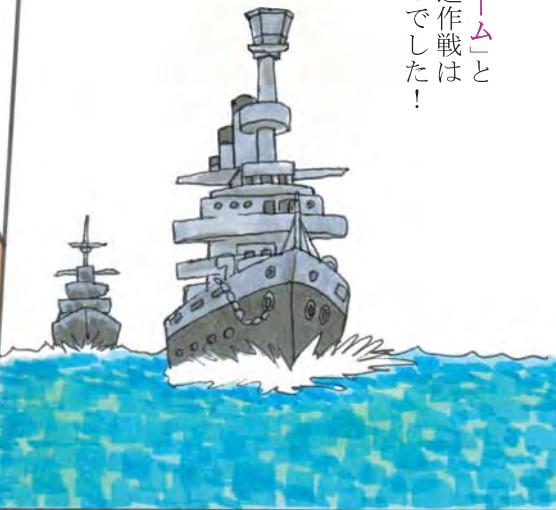
こうして米軍が「ペーフェクトゲーム」と呼んだキスカ撤退作戦は見事に成功したのでした！

樋口メモによると――



成功の要因は
陸海軍の連携と
アツツ島英靈の加護
によるものです

――とどんな時も
謙虚に語っています



そして昭和20年8月15日日本はポツダム宣言を受諾して終戦を迎えましたが

8月18日ソ連が北海道占領を目論み南樺太と占守島侵攻を始めたのです

当時日本はソ連と日ソ不可侵条約を結んでいたのでまぎれもない侵略行為でしたこれに樋口は激怒しました

しかし
あろうとか
大本營は
戦闘行動の全面停止
を各地に打電した
のでした

大本營には
敵軍と停戦交渉を
要求しつつ

現地には徹底抗戦
を指示しました

またもや
樋口は独断で
英断しました

断乎反撃せよ!!
ソ連の上陸軍を
粉碎せよ!!

占守島には
杉野巖少将及び
池田末男大佐率いる
戦車第十一戦隊が
駐屯していました

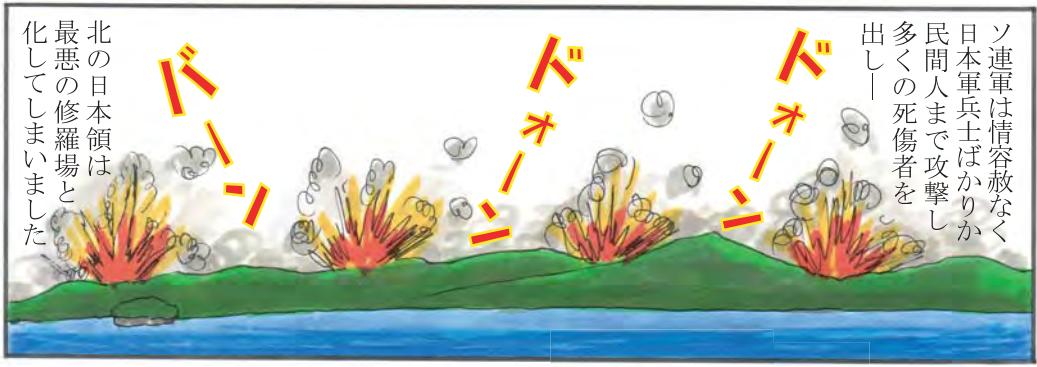


ソ連の攻撃は
熾烈を極めました

しかし日本軍も
最北端の領土を死守せんと
果敢に抵抗しました

中でも第十一という数字が
「士」に見えるとして
自ら士魂部隊と称した
池田戦車連隊の
激撃(ようげき)は
すさまじいものでした





この恶劣非道な
ソ連軍の攻撃は
25日まで続き—

米国大統領
トルーマンが
ソ連の北海道占領を
認めないと公言して
ようやく
停戦となつたのです



一方同じように終戦直後に
大本営の指示に従つて
武装解除に応じた満州では
ソ連兵の略奪で犠牲者数知れず
状態でした

樋口の功績は
大きいのです！



さてソ連側スターリンは
この戦いを
「大戦最大の恥辱」
として悔しがりました



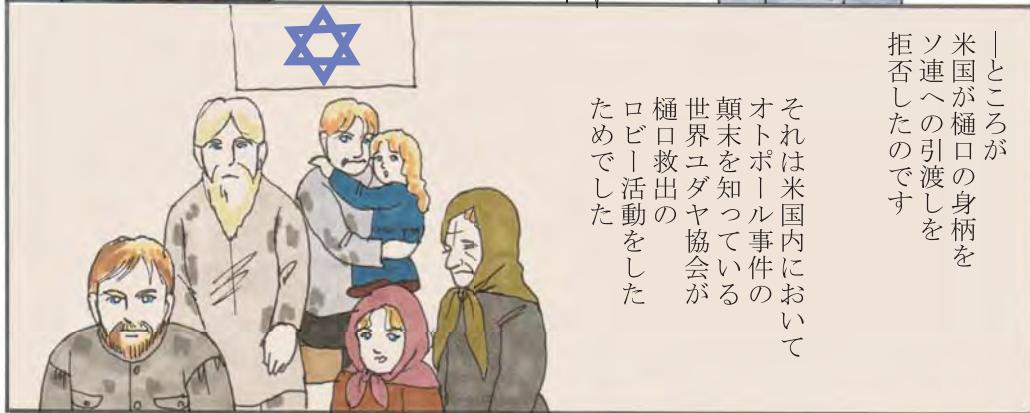
そして戦後
煮え湯を飲まされたソ連は
樋口を戦犯として訴追しました



どんな時も
泰然としている樋口は
敗軍の将として覚悟を
決めていました



ところが
米国が樋口の身柄を
ソ連への引渡しを
拒否したのです



それは米国内において
オトポール事件の
顛末を知っている
世界ユダヤ協会が
樋口救出の
ロビー活動をした
ためでした

樋口はこれを聞いて
思わず涙した
そうです

戦後米軍も徹底的に
樋口を取り調べたところ
捕虜虐待や致死事件が一切なく
戦後処理もスピードイだつたことが
判明して！

私は人間として
当然のことをして
しただけなのに…



と取り調べた
ジム・キヤツスル中佐に
言わしめました



戦後樋口は表舞台に出ることなく
家族とひつそり暮らす
「死ぬまで勉強」の自論で
海外文学作品を原書で読んだり
訳したりしました



それから2年後
枯木が倒れるように
82才の大往生をとげました

まさに巨星墜つーと言った感じです



樋口季一郎

ひぐらきいちらう
樋口季一郎　日本人なら絶対心に刻んで
おきたい偉大なる人物です

いの一番で
山崎大佐の子息に
頭を下げるそうです

福山の思い出



在りし日の萬寶山記念碑

巨大な台石は「ばら公園」駐車場脇に三分割して移設され現存する
建設経過を記した石板や手前の踏み台は備後護国神社に移設されている



樋口の左隣は相沢中佐、その左が静子夫人、中央が尾道高女在学中の長女・智恵子



歩兵第41連隊第17代連隊長・樋口季一郎大佐(當時) 昭和10年3月撮影



いそ よね かずよし
漫画著者：磯米・和義

「マチュピチュに行って来た!!」いそっぷ社
「特攻花」学芸みらい社
「モスグリーンの青春」展転社

URL: <https://isokunganbaru.web.fc2.com>

又は「イソ君がんばる」で検索

趣味：和太鼓・軽目の登山・読書



NHKで紹介されました



おおた ゆうすけ
監修：大田祐介
(福山市議会議員)

昭和43年3月生まれ

歩兵第四一連隊の足跡
「永遠の四一」の著者
(発行：福山健康舎
価格：4,100円税込み)



備後護国ワイン
樋口の部下だった41連隊の将兵他31,450柱の英靈が祀られる備後護国神社のお神酒
大田が丹精込めて仕込んだワインです

販売：福山健康舎 ☎ 084-931-4572

連絡先：〒720-0804 広島県福山市緑町2-13
(41連隊兵営跡地) 大田祐介
メール：orion@urban.ne.jp